

# 第12期報告書

平成24年12月1日から平成25年11月30日まで

株式会社サーラコーポレーション

証券コード：2734

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第12期（平成24年12月1日から平成25年11月30日まで）の概況及び今後の施策についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

神野 吾郎

### ■ 通期業績

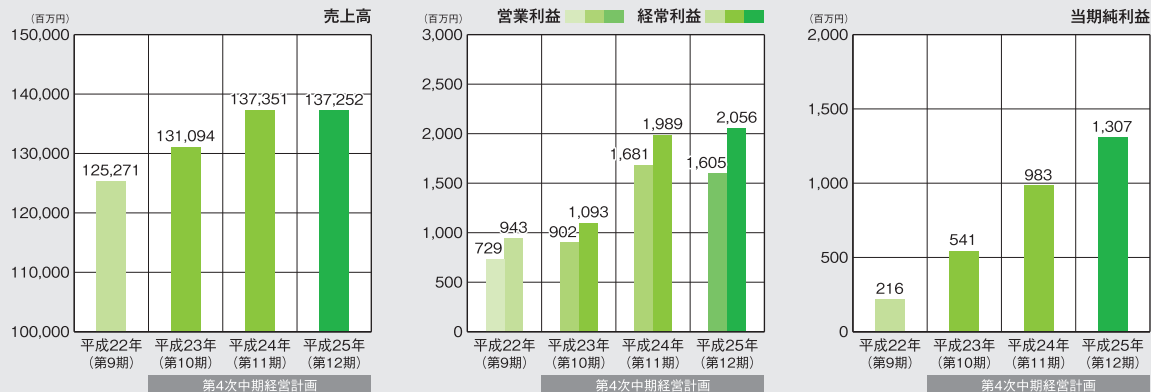
当期の業績は、主力のエネルギーサプライ&ソリューション事業において、円安の影響により輸入原料価格が前期に比べ高い水準で推移したことなどが事業活動に影響を受けました。一方、カーライフサポート事業における輸入車販売などは好調に推移しました。

売上高につきましては、LPガスの販売価格の見直しを行ったエネルギーサプライ&ソリューション事業や、輸入車販売が好調であったカーライフサポート事業などの各事業で増収となりましたが、エンジニアリング&メンテナンス事業で完成工事が減少したことや、アニマルヘルスケア事業で療法食の販売量が減少したことなどにより前期並みの137,252百万円となりました。経費の圧縮に努めたことにより販売費及び一般管理費は前期比2.0%減となりましたが、円安の影響により原料価格が高めに推移したことなどから営業利益は前期比4.6%減の1,605百万円となりました。経常利益は支払利息の減少などにより3.4%増の2,056百万円となりました。当期純利益は、法人税等費用の合計額の減少などにより33.0%増の1,307百万円となりました。

### ■ 第4次中期経営計画の実績

また当期は、当社グループの第4次中期経営計画（平成23年11月期～平成25年11月期）の最終年度にあたりました。この期間におきましては、マーケットシェアの確保や収益性の向上など既存事業の基盤強化に加え、リフォーム本部を柱とするリフォーム事業の推進、グループ企業の再編などの構造改革に取り組んだ結果、業績を着実に回復することができました。

## 連結業績ハイライト



### ■ 計画開始前 (第9期) と計画最終年度 (第12期) との比較

	第9期 (平成22年度)	第12期 (平成25年度)
売上高	1,252億円	1,372億円
経常利益	9億円	20億円
当期純利益	2億円	13億円

### ■ 当社グループを取り巻く環境

近年、社会や経済情勢の変化が激しく、人によって豊かさや幸せの基準が異なり、求めるものがますます多様化してきました。また、エネルギー業界では2年後を目途に電力・ガス小売の全面自由化が確実視されるなど、経営環境が大きく変わります。このような状況のなか、当社グループとして新たにめざすべき姿を明確に示すために、第5次中期経営計画 (平成26年11月期～平成28年11月期) を策定しました。

### サーラコーポレーション「第5次中期経営計画」策定

これまで当社グループで培ってきたあらゆる分野での事業基盤を活用し、既存の事業を発展させるとともに新たな分野への参画を積極的に進めていきます。

#### ■ テーマは「より魅力あるグループへ」

当社グループは中部瓦斯株式会社、サーラ住宅株式会社などとともにサーラグループを形成しています。サーラグループ各社は、共通の基本理念のもと互いに連携し、お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開しています。

この先、社会や環境、暮らしが大きく変化していくなかで、いつまでもお客さまや地域社会から選ばれ続けるグループであるためには、商品、サービス、そして社員が魅力的であることが大切だと考えています。そこで当社グループは「より魅力あるグループへ」を第5次中期経営計画のテーマに掲げました。



#### ■ テーマ実現のための3つの基本方針

- (Ⅰ) お客さま第一の徹底
- (Ⅱ) 一人ひとりが主役の成長
- (Ⅲ) 次の時代への挑戦

私たちが考える「魅力ある」とは、お客さま第一を徹底することでお客さまのニーズに真摯に応えること、社員があらゆることに挑戦し成長すること、時代に対応した新しい価値を創造することであり、この基本方針に定めました。

## ■ 4つの重点課題と主な施策

ここに掲げた3つの基本方針をもとに、中期経営計画を実現するための具体的な実行策として、以下の4つの重点課題に取り組んでいきます。

### ① お客さま基盤の拡大

「お客さま第一」を徹底し、これまでのお客さまとの取引を継続的に拡大していくことはもちろんのこと、新たなお客さまから当社グループを選んでいただき、信頼されることをグループの成長の土台とします。お客さまニーズなどの情報を集約した「統合顧客システム」、グループ各社の商品、サービスをつなぐ「サーラカード」、地域に密着した総合生活サポートの発信拠点である「サーラプラザ」など、グループ基盤を積極的に活用することでお客さまとのつながりをさらに強化していきます。

### ② 次なる時代への事業展開

地域におけるお客さま基盤とグループ各社のコアビジネスをベースに、これからの暮らしを創造する新しいサービスや事業を積極的に開発、育成し、グループ総力をあげて新しい時代への対応を図っていきます。リフォーム事業をさらに成長させるとともに、水事業、メンテナンス事業、電力ビジネスを新たな注力事業に掲げ、グループの事業の柱へと育てていきます。

また、当社グループの事業エリアで本格化するまちなか機能の再生等を主導し、豊かで安全で住みやすいまちづくりを推進していきます。

### ③ 社員の活躍・成長の促進

労働人口構造の変化、働き方の変化、ダイバーシティ（多様化）、社会的要請、グローバル化といった大きな枠組みの変化のなかで、当社グループで働くすべての人がサーラの社員であることの誇りと責任を自覚できるような社員制度の構築、魅力ある職場づくりをめざします。

### ④ 将来の成長を見据えたグループ経営の推進

グループの経営サポート機能の強化やグループ事業構造の最適化を促進することにより、事業の機動性や柔軟性を高め、これからの時代においても価値を生み出し続けるグループへと変革していきます。

また、環境問題への積極的な対応やBCP（事業継続計画）の整備など、今後一層重要性を増すCSRを促進し、地域とともに持続的に発展していくことをめざします。

● 第5次中期経営計画（平成26～28年）

将来の成長に向けて常に変革する  
新しい魅力的なグループへ！

● 平成20～22年

リーマンショック後の景気減速に伴う  
収益力の低下

● 第4次中期経営計画（平成23～25年）

グループ一体運営や生産性向上など  
足元の基盤強化を優先

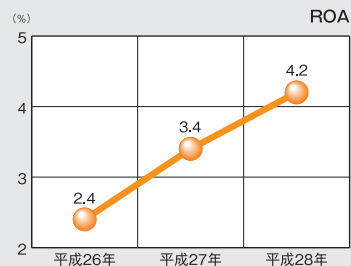
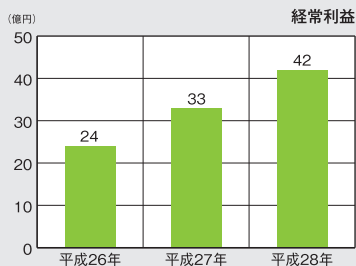
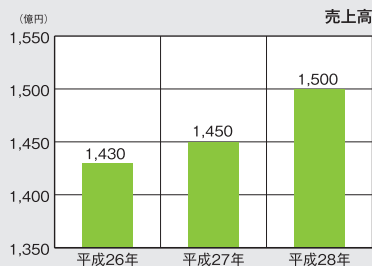
経営数値目標

■ 平成28年度（計画最終年度）目標

売上高 **1,500**億円

経常利益 **42**億円

ROA（総資産経常利益率） **4.2**%



当社グループは、この中期経営計画の達成に向けて全力で取り組むことにより、さらなる成長を実現することができるものと確信しております。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年2月

代表取締役社長

神野吾郎

# 事業セグメント別の概況

## エネルギーサプライ&ソリューション事業

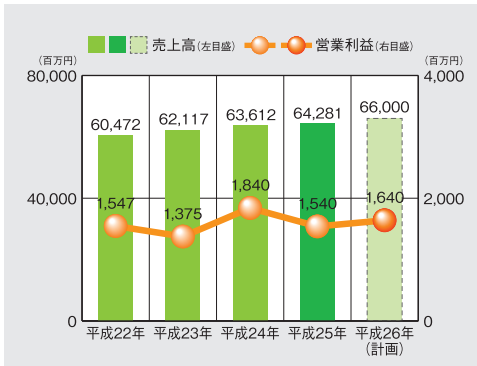
■売上高 **64,281**百万円 (前期比1.1%増) ↗

■営業利益 **1,540**百万円 (前期比16.3%減) ↘

- ・LPガスは高めに推移した気温の影響などを受け、家庭用の販売量が減少
- ・工業用の販売量も、取引先である大口の製造業の稼働率が低調であったため減少
- ・円安に起因する原料価格の高騰の影響が響き、営業利益は減少

### ■13期(平成26年度)の取組み

生活サポートサービスの充実を図り、これまで以上に多くのお客さまに当社グループのガスをご利用いただくよう努めます。特に注力しているリフォーム事業は「サーラのリフォーム」として仕組みを構築し、サーラプラザの活用により事業を拡大していきます。



## エンジニアリング&メンテナンス事業

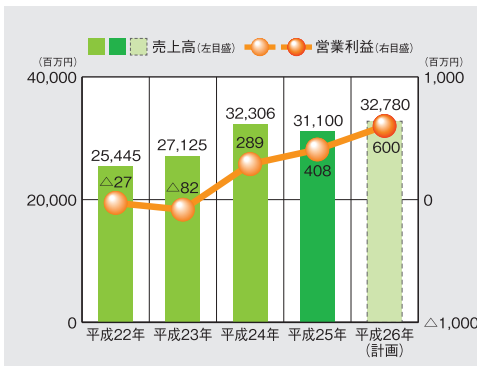
■売上高 **31,100**百万円 (前期比3.7%減) ↘

■営業利益 **408**百万円 (前期比40.9%増) ↗

- ・設備、建築の各部門において、完成工事が減少したことから売上高は減少
- ・土木部門では、公共工事をはじめとする受注を順調に確保
- ・メンテナンス部門では、産業用ソーラーの施工件数が増加

### ■13期(平成26年度)の取組み

土木部門では、環境関連ビジネス強化のため新プラントの建設を計画しています。メンテナンス部門では、施設の維持管理から清掃、点検、修繕までを総合的に受託し、サービスを提供する事業モデルを確立し、契約件数を増やすことにより事業の拡大を目指します。



## カーライフサポート事業

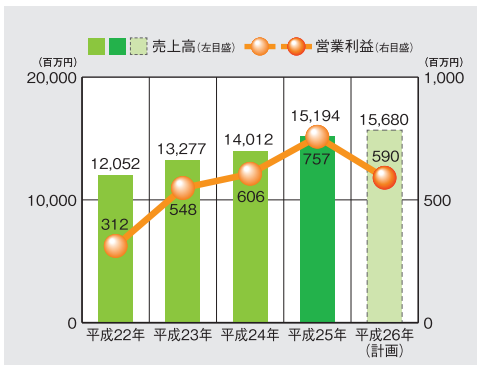
■売上高 **15,194**百万円 (前期比8.4%増) ↗

■営業利益 **757**百万円 (前期比29.4%増) ↗

- ・フォルクスワーゲン、アウディとも販売台数は過去最高
- ・アフターセールスを強化したことにより、整備部門の売上高も増加

### ■13期(平成26年度)の取組み

既設の店舗のリニューアルを行うとともに、西東京、静岡県東部を中心に新規の出店を検討してフォルクスワーゲン、アウディ両ブランドの販売シェアの拡大を図ります。新規出店に伴う償却費を計上するため、13期は一時的に減益となる予定です。



# 事業セグメント別の概況

## アニマルヘルスケア事業

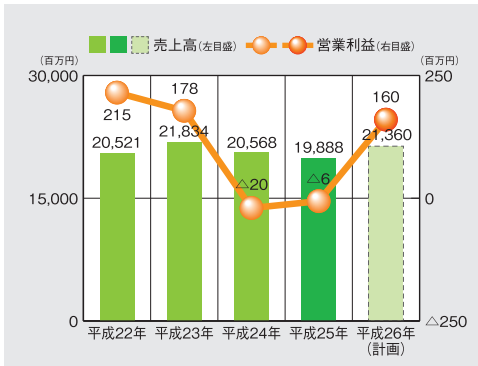
■売上高 **19,888**百万円 (前期比3.3%減) ▼

■営業損失 **6**百万円 (前期営業損失20百万円)

- ・畜産分野は、配合飼料の価格高騰の影響などにより売上高が減少
- ・ペット関連分野は、大口の顧客に対する療法食の販売が減少したことが響き減少
- ・経費削減に徹した結果、営業損失は縮小

### ■13期(平成26年度)の取組み

ペット関連分野において、お客さまである動物病院の利益につながる提案型の営業を強化するとともに、利益率の高い医薬品の販売にシフトしていきます。また、最大のマーケットである首都圏における営業を強化していきます。



## ホスピタリティ事業

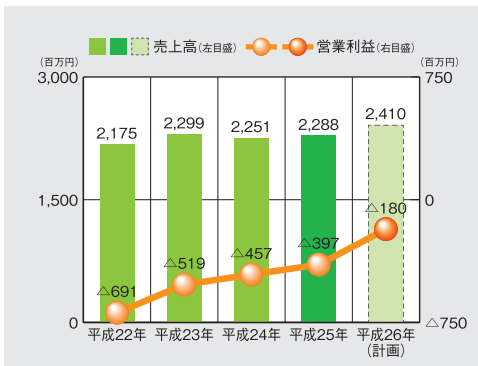
■売上高 **2,288**百万円 (前期比1.7%増) ▲

■営業損失 **397**百万円 (前期営業損失457百万円)

- ・魅力的な商品プランを展開したことにより、宴会組数が増加
- ・ブライダルは挙式組数が減少したものの、組当たりの単価が増加
- ・宿泊は法人利用が増加したことにより、客室稼働率が上昇

### ■13期(平成26年度)の取組み

ホテルアークリッシュ豊橋では、間接部門の合理化を図るとともに、主力であるブライダル部門の受注の確保に努めるとともに上質な商品、サービスの提供により、お客さまのリピートに訴求していきます。



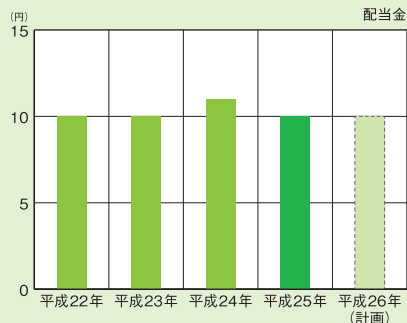
## 第12期配当金

当社の配当の基本方針は次のとおりです。

- ①連結配当性向30%を目途として配当を行います。
- ②最低年間配当金として1株につき年10円(中間・期末各5円)を維持します。

第12期の期末配当につきましては、上記に基づきまして、1株当たり5円といたしました。

この結果、当期の年間配当は、中間配当金5円と合わせ、1株当たり10円となります。





# 連結財務情報

## 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当 期 (H25.11.30現在)	前 期 (H24.11.30現在)
(資産の部)		
流動資産	41,206	38,921
現金及び預金	7,713	7,933
受取手形及び売掛金	20,991	20,168
商品及び製品	4,307	4,152
仕掛品	3,538	2,716
その他	4,654	3,950
固定資産	56,564	58,008
有形固定資産	45,850	46,991
建物及び構築物	16,595	17,552
機械装置及び運搬具	1,920	2,058
導 管	1,776	1,950
土 地	22,813	22,447
リース資産	1,864	2,023
その他	880	960
無形固定資産	1,761	2,300
投資その他の資産	8,952	8,716
投資有価証券	4,745	3,756
繰延税金資産	2,117	2,273
その他	2,089	2,685
資産合計	97,770	96,929

単位：百万円

科 目	当 期 (H25.11.30現在)	前 期 (H24.11.30現在)
(負債の部)		
流動負債	45,475	46,843
支払手形及び買掛金	17,239	16,822
短期借入金	13,020	14,120
1年内返済予定の長期借入金	4,742	6,430
賞与引当金	1,334	1,372
その他	9,138	8,097
固定負債	23,577	22,893
長期借入金	13,134	12,546
退職給付引当金	6,505	6,285
その他	3,938	4,060
負債合計	69,053	69,737
(純資産の部)		
株主資本	26,800	25,917
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	10,710	9,826
自己株式	△954	△953
その他の包括利益累計額	775	188
少数株主持分	1,140	1,086
純資産合計	28,716	27,192
負債純資産合計	97,770	96,929

## 連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当 期 (自H24.12.1 至H25.11.30)	前 期 (自H23.12.1 至H24.11.30)
売上高	137,252	137,351
売上原価	107,775	107,233
売上総利益	29,477	30,118
販売費及び一般管理費	27,872	28,436
営業利益	1,605	1,681
営業外収益	778	736
営業外費用	327	428
経常利益	2,056	1,989
特別利益	159	144
特別損失	117	168
税金等調整前当期純利益	2,098	1,965
法人税等	733	943
少数株主損益調整前当期純利益	1,365	1,022
少数株主利益	57	38
当期純利益	1,307	983

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当 期 (自H24.12.1 至H25.11.30)	前 期 (自H23.12.1 至H24.11.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,269	6,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,665	△1,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,823	△4,624
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△219	621
現金及び現金同等物の期首残高	7,933	7,312
現金及び現金同等物の期末残高	7,713	7,933

# 会社の概要及び株式の状況

(平成25年11月30日現在)

## ■ 商号 株式会社サーラコーポレーション

■ 設立 平成14年5月1日

■ 資本金 80億2,500万円

■ 証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
名古屋証券取引所 市場第一部

■ 役員 代表取締役会長 中村 捷二  
代表取締役社長 神野 吾郎  
代表取締役専務 松井 和彦  
取締役 角谷 歩  
取締役 一柳 良雄  
取締役 石黒 和義  
監査役(常勤) 原田 保久  
監査役 鈴木 洋二  
監査役 杉井 孝  
監査役 村松 奈緒美

■ 従業員数 2,775名(連結)

## ■ 連結子会社 19社

### エネルギーサプライ&ソリューション事業

ガステックサービス(株)  
サーラ物流(株)  
グッドライフサーラ関東(株)  
(株)リビングサーラ  
三河湾ガスターミナル(株)  
(株)日興  
神野オイルセンター(株)

### エンジニアリング&メンテナンス事業

(株)中部  
神野建設(株)  
(株)鈴木組  
(株)中部技術サービス  
テクノシステム(株)  
西遠コンクリート工業(株)

### カーライフサポート事業

サーラカーズジャパン(株)

### アニマルヘルスケア事業

(株)アスコ  
大和医薬品工業(株)

### ホスピタリティ事業

ガステックサービス(株)

### その他の事業

新協技研(株)  
サーラフィナンシャルサービス(株)  
(株)サーラビジネスソリューションズ

■ 発行可能株式総数 120,000,000株

■ 発行済株式総数 40,338,708株  
(自己株式1,752,991株を含む)

■ 株主数 4,116名

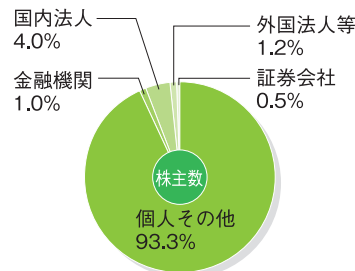
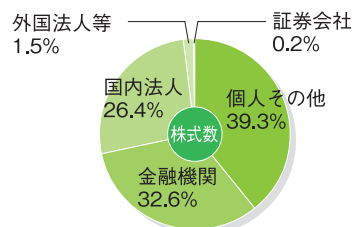
## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中部瓦斯株式会社	5,921	15.35
サーラコーポレーション従業員持株会	2,177	5.64
ガステックサービス共栄会	1,953	5.06
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.75
三井住友信託銀行株式会社	1,823	4.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,560	4.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,508	3.91
株式会社静岡銀行	1,495	3.88
株式会社三井住友銀行	1,197	3.10
株式会社みずほ銀行	957	2.48

●当社は自己株式1,752千株を保有していますが、上記大株主から除いています。

●持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## ■ 所有者別株式分布



## 株主メモ

- 事業年度期間 12月1日～翌年11月30日
- 定時株主総会 毎年2月中
- 基準日 定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日  
中間配当 5月31日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所  
〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎0120-782-031
- 取次窓口  
三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
- 公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載します)  
<http://www.sala.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 単元株式数 100株

## 株主優待のご案内

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

- 対象  
毎年11月末日現在において、500株以上所有の株主さま
- 内容  
ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。  
株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数	優待内容
500株以上 5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

- ご利用方法  
株主優待券は、当社グループのガステックサービス(株)が販売するガス機器、同社が運営するガソリンスタンドでの給油・洗車、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、同ホテル内のレストランでの飲食などにご利用いただけます。

ご利用店舗がお近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただきます。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。



業績に関する詳しい情報は、  
当社ホームページでご確認いただけます。

決算短信、事業報告書、有価証券報告書などの  
IR情報のほかセグメントごとの事業内容も掲載しております。  
ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://sala.jp/>

sala

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション

総務部 総務グループ ☎0532-51-1182 E-mail:ir@sala.jp